

## ACR 療法（多血小板血漿（PRP）注入）施術説明書

皮膚老化の再生を図るために、自己多血小板血漿（以下 PRP と略す）の皮膚への注入を行うことを勧めます。PRP はご自身の血液の中の血小板を濃縮した成分です。PRP の中には皮膚の再生を促進する様々な成長因子が含まれています。PRP 作製作業は、清潔操作で行われ、かつ自己血液であるために、他人からの病気がうつる、あるいは感染症を起こす心配は基本的にありません。

### 説明

- 施術前に治療部位に表面麻酔を行います。
  - PRP 細胞提供、または PRP 治療を受けることは任意です。
  - 静脈血採血による合併症は極めて稀ですが、失神・吐き気・静脈炎・内出血斑・神経損傷を起こす可能性があります。
  - PRP 注入後、腫れや内出血が起こります。
  - PRP 注入液を作製するためには、通常約 10 cc 採血管 1 本あたりの静脈血を片側の肘の静脈から採血します。
  - 血小板活性を促すためにアドレナリン含有リドカインを少量加える事があります。
  - 施術後にホットタオルで加温します。
  - 他の治療法との比較：ヒアルロン酸やコラーゲン注射、または光線療法とは機序が異なり類似する方法はありません。
  - 治療費は、顔面全体の治療で 8 万円（別途消費税）。
  - PRP の保管及び移動は行いません。
  - PRP 作製に関わる材料（血液）及び器材は医療廃棄物として処理します。
  - この技術を使った治療に対する同意を施術前であればいつでも撤回することは自由です。また、撤回による不利益は生じません。
  - 本治療は「自己多血小板血漿（PRP）を用いた美容療法」（計画番号 PC5150071）という名称で、特定非営利活動法人日本アンチエイジング医療協会認定再生医療等委員会（認定番号 NB3150019）における審査の後、厚生労働大臣に再生医療等提供計画を提出し、受理されています。また、定期報告義務を有します。
  - 問い合わせ及び苦情は下記にて対応します。
- 印どうメディカルクリニック 受付窓口 TEL: 072-724-2824
- 特定非営利活動法人日本アンチエイジング医療協会認定再生医療委員会 TEL: 03-5911-5524
- 個人情報保護法により、医学的情報は法律で要求される期間、秘密を守って保存されます。ただし、個人を特定できないような情報は、委員会等に報告をし研究に使用することがあります。
  - 細胞提供者と再生医療等を受けるものが同一であるため、補償は日本医師会医師賠償責任保険で対応とする。施術中に疑問が生じた場合は直ちに適切な処置を施し、経過によっては他の医療機関を紹介する。



